



米田会長は事情により総会出席が叶わなかったため代わりに退任のメッセージが寄せられ、代読披露されました。長年の労に対して会場の皆さんの拍手で感謝の意を表しました。

金輪事務局長の報告を受けて、21年度の活動の貴重な成果を確認し、今年度の活動につなげていくことが語られました。

ウクライナ侵攻に抗し 平和とジェンダー平等をもとめて 力を尽くしましょう

5月28日、第23回通常総会を東京ウィメンズプラザで開催することができました。コロナ禍がいまだ終息しない中でしたが、多くの委任状と参加者として、予定の議事を終了することができました。コロナ禍により「らいてう忌」の催しを実施できなかったことは残念なことでした。

平塚らいてうの会ニュース

発行
平塚らいてうの会
〒112-0002
東京都文京区
小石川
5-10-20-5F
TEL・FAX
03-3818-8626

・「らいてう没後50年・『青踏』創刊110周年記念のつどい」は、会として初めてオンライン開催し、全国から150人の参加があり新聞にも報道されました。中満泉国連軍縮担当上級代表のメッセージに始まり、米田会長の基調報告、奥村、北原、米山各氏の発言で「今生かそうらいてうのころざし」をめぐっての豊かな語らいの場となりました。これからの会の活動の力になることでしょう。

・「ロシアはウクライナから即時撤退を」の声明文をロシア大使館に送付し（3月10日）、らいてうの平和への志を発信しました。

・「らいてう資料」を大原社会問題研究所に寄贈（3月15日）、貴重な資料の一部は、スキヤナーやコピーをして会として保存しました。らいてうの1950年日記と1929年日記はデジタル化しました。紀要14号は、発行準備中。会に残るらいてう関連資料についての検討を進めるとともに、近くオープン予定の新日本婦人の会の「平塚らいてう・女性運動資料室」（仮称）の展示準備に協力していきます。

・らいてうの家は、コロナにより、8月、9月を閉館とし、家でらいてう講座のほとんどが中止となりましたが、前年度を上回る140人の来館者がありました。主な運営を担った上田真田らい

てうの会の皆さんの底力が発揮されました。今年度の団体来館予約がすでに数件入っていることも力強いことです。

・あずまや高原のソーラーパネル設置計画の終了を受けて、設置反対運動の記録をまとめる作業を続けています。

・会員の高齢化による退会傾向が続いている中で、会員の輪を広げ、会費と寄付で運営されている会の財政の安定化を目指す必要があります。

（会場での討議から）

・らいてうの家をなぜ交通の便の悪いところに建てたのかという質問が出され、改めて、らいてう自身が求めた土地であること、自然の中にあることの積極的な意味などを考え合いたいと思いました。

・「らいてう資料」がなぜ大原社会問題研究所に寄贈されたのか、資料はいつオープンにされるのかなどの質問も出され、らいてう資料への関心の高さが実感されました。らいてう関連資料の研究、遺族の方から寄贈された書、絵画などの活用も進めたいと思います。

（三留弥生）

今年度役員

代表理事・沓掛美知子、堀江ゆり、三留弥生
事務局長・金輪きみ子、事務局次長・北澤有希子
理事・青木俊子、井上美穂子、植草充代、折井美耶子、木村見江、久野泉、倉橋純子、小林明子、竹花みい子、宮下昌子、山田繁子、若尾伸子
監事・佐久間由美子、由比ヶ濱直子

代表理事制へ 新体制スタート



平塚らいてうの会は「平塚らいてうを記念する会」という名称で1986年に発足し、2001年にNPO法人に発展。この度、会の役員体制は昨年の総会決定により会長制から代表理事制に変わり、今年の総会で新体制がスタートしました。

退任にあたって

「森のやまんば」から「平和の語りべ」に

米田佐代子

わたしの会長退任は昨年から決まっていたことですが、思いがけない事情のため今年に入ってから理事会にも総会にも出席できなくなり、最後まで任務を全うすることができませんでした。

これからの新体制にすべてをゆだね、退任のご挨拶いたします。

らいてうの家オープンから今日まで10数年、会員・理事のみなさんはもとより、全国の心ある方がた、長野県内の多くの方がたからいただいたご支援や励ましに、会としてもわたし個人としてもたくさん支えていただいたことを忘れません。ほんとうはらいてうの家で「森のやまんば」になりたいと思っていましたが、果たせないまま退くことに万感の思いがあります。

けれども、らいてうが守り抜こうとねがった

「日本国憲法九条」があやうい今、本会初代会長櫛田ふきさんが語ったとおり「沈黙は共犯」です。これからは都会の片隅で「巷（ちまた）のやまんば」になり、残り少ない人生を「平和の語りべ」として「行き着くところまで行ってみよう」と思っています。長い間ありがとうございます。



沓掛美智子

この度、定款変更に伴いまして代表理事に選任されました。よろしくお願いいたします。上田市にらいてうの家が建てられ

ると知り、そこから「平塚らいてうの会」と関わって参りました。没後50年の節目に、図らずも地元上田真田らいてうの会の会長職を杉山洋子氏、花岡静枝氏より受け継ぎました。微力ではございますが私なりに、らいてうの会発展のために努力していきたいと思えます。膨大ならいてうに関する資料が大原社研に寄贈されることになりました。このことは、今後、劣化が避けられない大切な資料を安心して保管していただけたということだと思います。らいてうの自筆資料をワクワクして手に取る事はできなくなりましたが、何時でも学習できる状態になっています。新しい発見を目指したいものです。



総会で選出された新代表理事

「よろしくお願いします。」

33年前に日本婦人団体連
合会（婦団連）事務局に入
るまで、らいてうは私にと
って「歴史上の」人とし
た。婦団連で国際活動を担
当し、国際民主婦人連盟と
いう、反戦平和、子どもの



堀江 ゆり

ンケートをまとめるのが私の会での初仕事でし
た。中央設計の永橋為成氏を設計アドバイザーに
9人の女性建築士の設計、地元と全国の皆さんの
ご寄付、地元の業者の方々の尽力によってらいて
うの家は完成し2006年にオープンしました。
以後、「平和、協同、自然の広場」として、平
塚らいてうの唯一の記念館として、多くの貴重な
出会いと学びの場となりました。このかけが
えのない場を育てていく仕事に、また未発表の資
料を検討して、私たちの現在を照らしてくれるら
いてうの姿を発見していく仕事に皆さんとともに
微力を尽くしていきたいと思っています。



三留 弥生

2004年、らいてう
の家建設のためのプロジ
ェクトチームが発足し、
全国の会員の方たちから
寄せられた家への希望ア

「紀要 第14号」 8月発行予定 頒価700円

特集・記録

らいてう没後50年・『青鞥』創刊110周年記念のつどい
今 生かそう らいてうのころざし

開会の挨拶・折井美耶子 ビデオメッセージ・中満泉

基調報告・米田佐代子

発言・奥村直史、北原みのり、米山淳子

閉会の挨拶・沓掛美知子

戦後日記（1948—1950）解題

米田佐代子

1929年日記解題

三留弥生

大原社研へ寄贈する「らいてう資料」の概要

米田佐代子

太陽光発電計画中止の経過

小林典子

奥村博史の演劇と画業のパトロンについての一考察

田端文士村記念館研究員・種井丈

平塚らいてう戦後日記（1948—1950）と

1929年日記書き起こし

幸せ、女性の権利をめざす国際的な女性団体が戦
後すぐにつくられていたことを知りました。婦団
連がそうした国際的な動きと国内運動とをつなげ
る活動をしてきた団体で、初代会長らいてうが大
きな役割を果たしていたことを知ったのはもっと
後です。2003年に婦団連会長になり、らいて
うの会の副会長として「生誕130年」「没後50
年」などに取り組み、今ようやく「らいてう」が
わかり始めたところです。

「核も戦争もない世界」という当たり前の願
いの実現の難しさを痛感する今、「らいてうのころ
ざし」を胸に、みなさまと共に活動していきます。

（婦団連副会長）

上田「らいてう資料」をみる会

法政大学大原社会問題研究所に「らいてう資
料」を寄贈する直前の3月12日「上田プラザ・ゆ
う」で開催。会の理事、元理事を対象とした会
でした。当初は1月に予定していましたがコロナ禍
で開くことが出来ませんでした。17点の日記や手

紙を展示しま
した。



資料を手にとって見えています

市川房枝か
らのお歳暮の
ことが書かれ
ている196
6年婦人手帳
からはらいて
うと市川房枝

との交流がずっと続いていることが分かります。

「初孫のおもいで」（昭和28年）を書いた原稿
用紙には付け加えや直しがいくつもあります。何
度も推敲した様子がうかがえます。日めくりカレ
ンダーに書かれているメモ。らいてうがどこにで
も自分の思いを書き付けていました。今回展示し
ませんでしたがいりいろな紙の裏のメモがたくさ
んあります。らいてうの人となりを感じることが
できます。「本物を見ると資料の重要性がよく分
かる」「もっと大勢の人に見てもらえたら良かつ
た」と感想がありました。これから大原社研が資
料のデジタル化、公開をし、らいてう研究が進む
ことを期待しています。

（金輪きみ子）

らいてうの家 オープンイベント



今年は雪が多かった割に4月は暖かい日が続きました。上田の桜の咲く中、4月23日のオープンイベントは、33名の参加者で行うことができました。オーボエ奏者石井聡美さんとピアノ伴奏金子恵さんのコラボは皆を楽しい気分になしてくれました。朝ドラの「お日さま」のテーマソングもオーボエ演奏と知ってとても身近な楽器となり

ました。2月24日から始まったロシアのウクライナ侵攻に深い憤りと悲しみを感じている時、このような穏やかなひと時が持てるのも「平和」でいられるからです。いかに平和が大切な身に染みて感じます。

昨年・今年の特別展示に使用した山本宣治の会所蔵の油絵「告別」の実物大模写も展示されました。らいてうの生きた時代は治安維持法下の言論統制の激しい時代でした。平和のためには言論の自由の抑圧に対して敏感であらねばならないことをこの絵は語っています。

今、女性たちも #me too #with you #ku so にみられるように様々な攻撃にもめげず、「黙らない」「見捨てない」として聞かない社会を聞くことのできる社会へと変えてきています。私たちも「だまされない」「あきらめない」ように深く学び、考え、「力には力を」とする平和と逆行する勢力に対しねばり強く「平和が大事」と声を上げ続ける事です。平和を願う人の輪を一層強め、広げていく努力をしていきたいと思っています。

(倉橋純子)



大月源二「告別」の前で話す三留さん

【事務局日誌】

計報 海部公子さんとのお別れがこんなに早く来るとは、思ってもみませんでした。「いのちの守り手」と名づけられたあなたの九谷色絵の大皿を、どうしてもとおねだりしてから10数年、温かい掌に包み込まれた子ウサギの絵皿は今もらいてうの家の宝物です。戦争の不安が広がる今、わたしたちはらいてうのこのころざしとともに、この絵皿が訴える「いのちの平和」への思いを受けついで行かなくてはならないと思っています。感謝をこめて 合掌。

(米田佐代子)

4月7日 B-STBS「につぼん歴史鑑定」「青

鞆」原本取材撮影

4月14日 第5回常任理事会(オンライン併用)

4月16日~18日 らいてうの家オープン準備

4月23日 らいてうの家オープン

5月2日 B-STBS「につぼん歴史鑑定」

『元始、女性は太陽であった！婦人運動家・平塚らいてう』放映

2021年度会計監査を受ける

5月12日 第6回理事会(オンライン併用)

5月28日 第23回通常総会・第1回理事会(於東京ウィメンズプラザ)

6月12日 森のめぐみ講座①らいてうの庭の手入れ、峰の原高原の植生観察

6月13日 筑波大実験センター内植物観察

6月16日 NHK特集ドラマ「風よあらしよ」PR

番組の取材(24日も)

第2回理事会(オンライン併用)

お詫びと訂正 前号117号3面写真の青山生子さんは誤りで青木生子さんでした。お詫びして訂正いたします。